



2009年3月期決算

2009年5月13日
株式会社ニコン

※本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現在における入手可能な情報に基づき当社が判断した内容であり、潜在的风险及び不確実性が含まれます。従いまして、様々な要因の変化によって、実際の業績は記述されている内容と大きく乖離する結果となる可能性があることをご承知おきください。



2009年3月期決算の概況と 2010年3月期の見通し

Agenda

I. 2009年3月期の概況

II. 2010年3月期の見通し

III. 参考データ



2009年3月期連結売上高・損益



単位: 億円	08年3月期 実績	上期 下期	前回予想 (2/5)	上期 下期	09年3月期 実績	上期 下期	前年実績比	前回予想比
売上高	9,558	<u>4,458</u> 5,100	8,600	<u>4,871</u> 3,729	8,797	<u>4,871</u> 3,926	▲761	+197
営業利益 売上高比	1,352 14.1%	<u>633</u> 719	440 5.1%	<u>541</u> ▲101	482 5.5%	<u>541</u> ▲59	▲870	+42
経常利益 売上高比	1,201 12.6%	<u>589</u> 612	420 4.9%	<u>531</u> ▲111	477 5.4%	<u>531</u> ▲54	▲724	+57
当期純利益 売上高比	755 7.9%	<u>344</u> 411	240 2.8%	<u>336</u> ▲96	281 3.2%	<u>336</u> ▲55	▲474	+41
為替:ドル (円) ユーロ	114 162	<u>119</u> 109 <u>162</u> 161	100 142	<u>106</u> 93 <u>163</u> 121	101 144	<u>106</u> 95 <u>163</u> 125	売上高への影響額 ▲834億円 +66億円 営業利益への影響額 ▲414億円 +16億円	

昨年秋からの急激な景気後退と円高が下期業績を直撃。
通期でも8%の減収、60%台の減益

2009年3月期 精機カンパニー



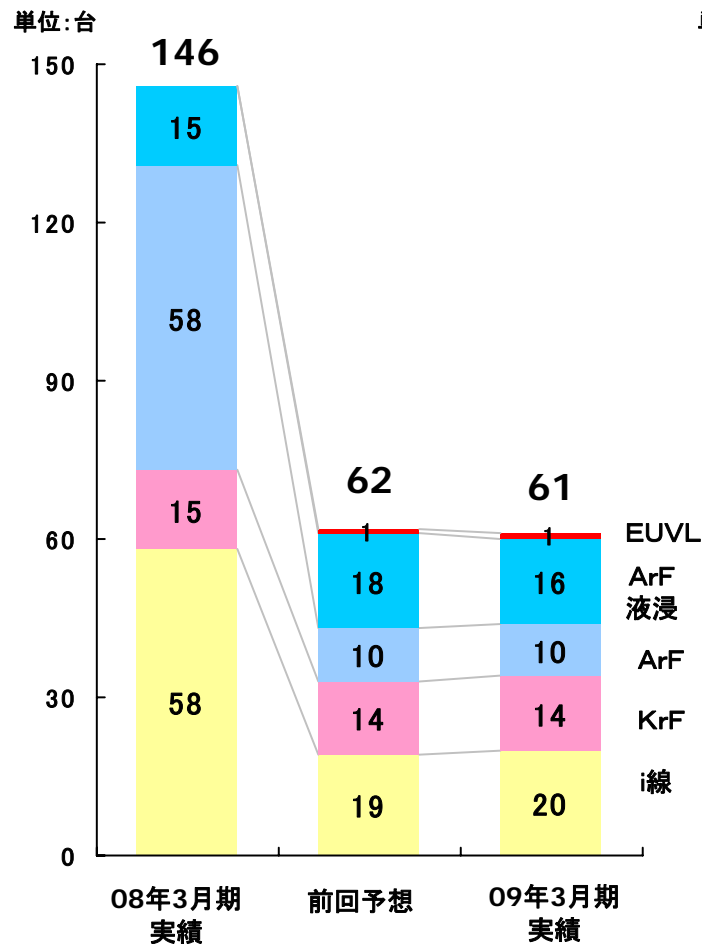
	08年3月期 実績	上期 下期	前回予想 (2/5)	上期 下期	09年3月期 実績	上期 下期
売上高	2,908億円	$\frac{1,404}{1,504}$	2,300億円	$\frac{1,172}{1,128}$	2,199億円	$\frac{1,172}{1,027}$
営業利益 <small>売上高比</small>	433億円 14.9%	$\frac{213}{220}$	110億円 4.8%	$\frac{122}{\blacktriangle 12}$	80億円 3.6%	$\frac{122}{\blacktriangle 42}$
半導体露光装置 新品/中古	146/18台	$\frac{68/10}{78/8}$	62/18台	$\frac{32/10}{30/8}$	61/17台	$\frac{32/10}{29/7}$
液晶露光装置	45台	$\frac{24}{21}$	65台	$\frac{37}{28}$	65台	$\frac{37}{28}$
半導体露光装置 市場規模CY07/08	564台		296台		296台	
液晶露光装置 市場規模CY07/08 (カラーフィルター用を除く)	70台程度		110台程度		110台程度	

液晶露光装置は前年比4割増加するも、半導体露光装置は大幅な減少。
前年比で24%の減収、82%の減益

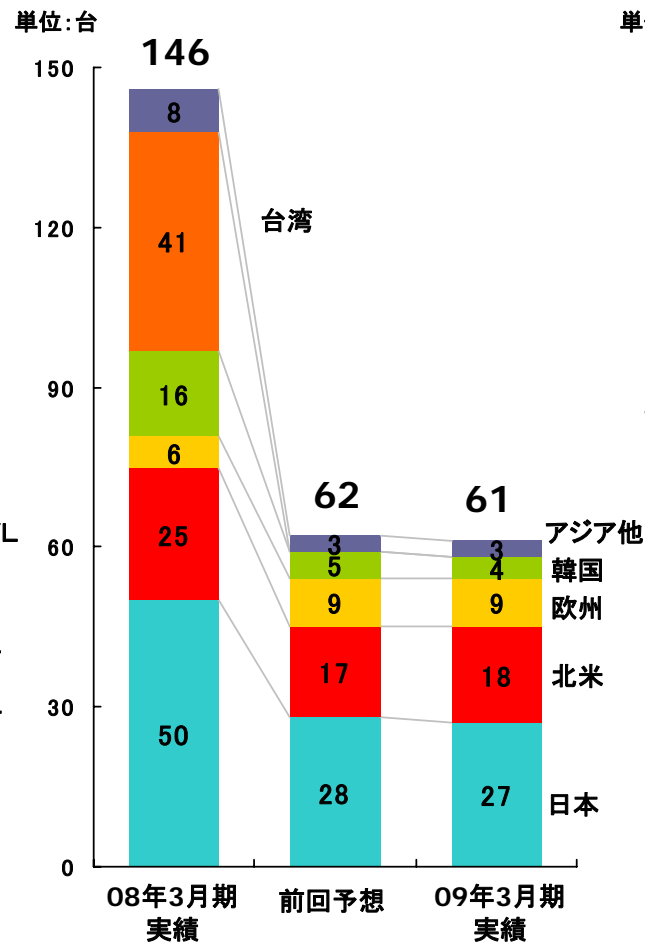
2009年3月期 精機カンパニー



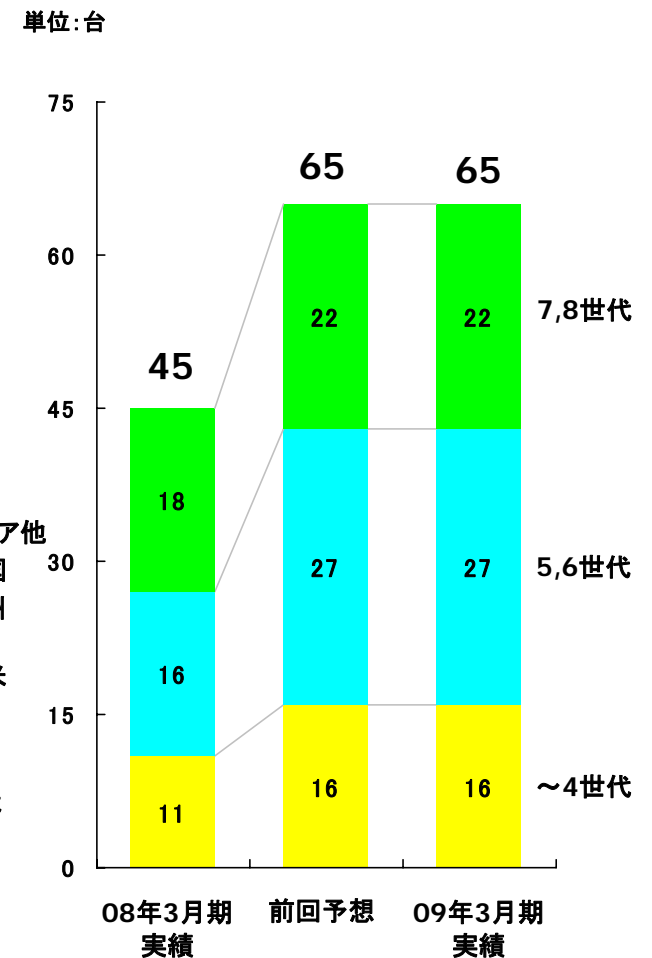
半導体露光装置 光源別販売台数



半導体露光装置 地域別販売台数



液晶露光装置 世代別販売台数



2009年3月期 映像カンパニー



	08年3月期 実績	上期 下期	前回予想 (2/5)	上期 下期	09年3月期 実績	上期 下期
売上高	5,861億円	<u>2,703</u> 3,158	5,700億円	<u>3,372</u> 2,328	5,965億円	<u>3,372</u> 2,593
営業利益 <small>売上高比</small>	840億円 <small>14.3%</small>	<u>388</u> 452	350億円 <small>6.1%</small>	<u>420</u> ▲70	400億円 <small>6.7%</small>	<u>420</u> ▲20
デジタル一眼レフ カメラ	309万台	<u>147</u> 162	330万台	<u>187</u> 143	342万台*	
交換レンズ	445万本	<u>220</u> 225	460万本	<u>263</u> 197	487万本*	
コンパクトデジタル カメラ	855万台	<u>403</u> 452	1,000万台	<u>591</u> 409	1,033万台*	
デジタル一眼レフ カメラ市場規模	772万台		950万台		913万台	
交換レンズ市場規模	1,307万本		1,600万本		1,480万本	
コンパクトデジタル カメラ市場規模	9,857万台		11,000万台		10,369万台	

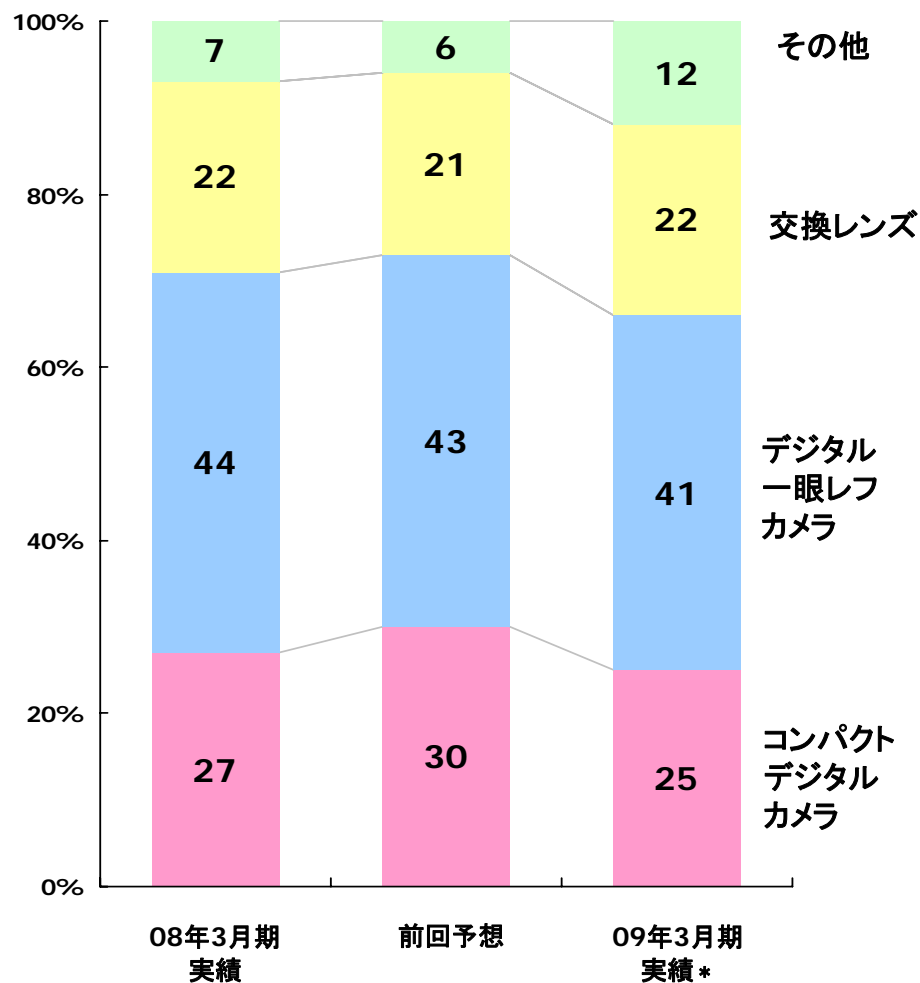
下期業績の落ち込みで通期 52%減益。通期売上は 2%増収で過去最高を更新。
4Qの生産調整により、期末在庫を前年比 200億円弱圧縮

*09年3月期実績は販売台数となっております。

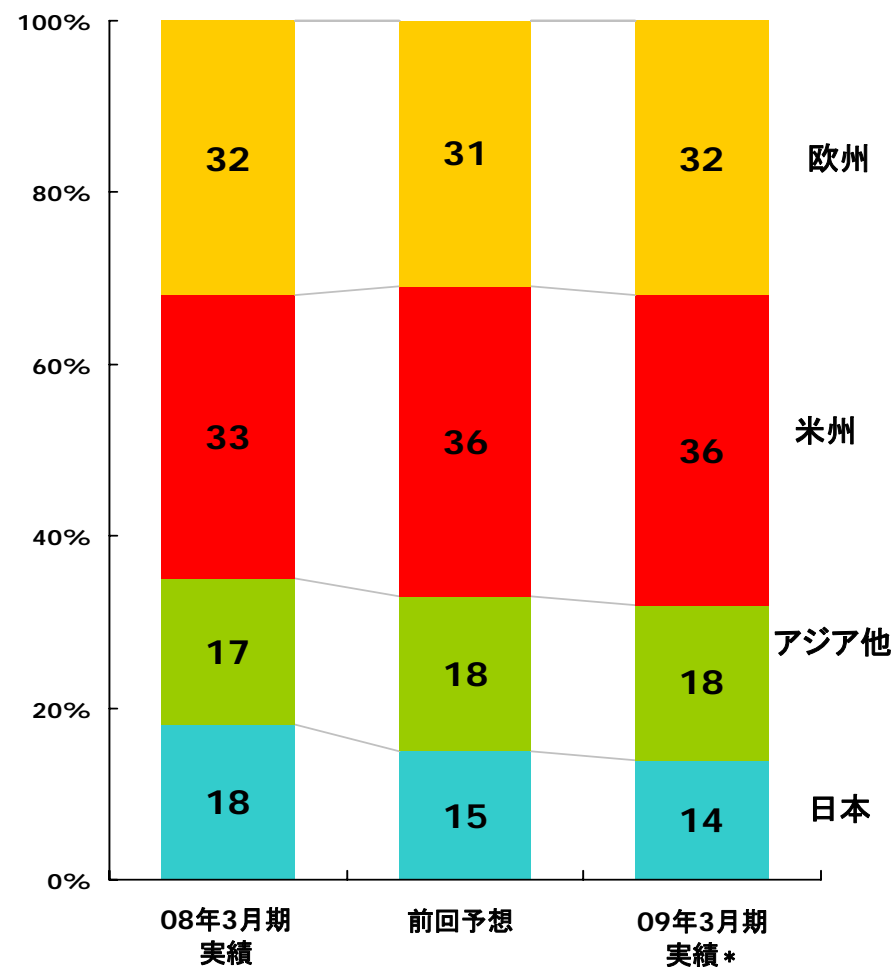
2009年3月期 映像カンパニー



出荷金額の製品別構成比



出荷金額の地域別構成比



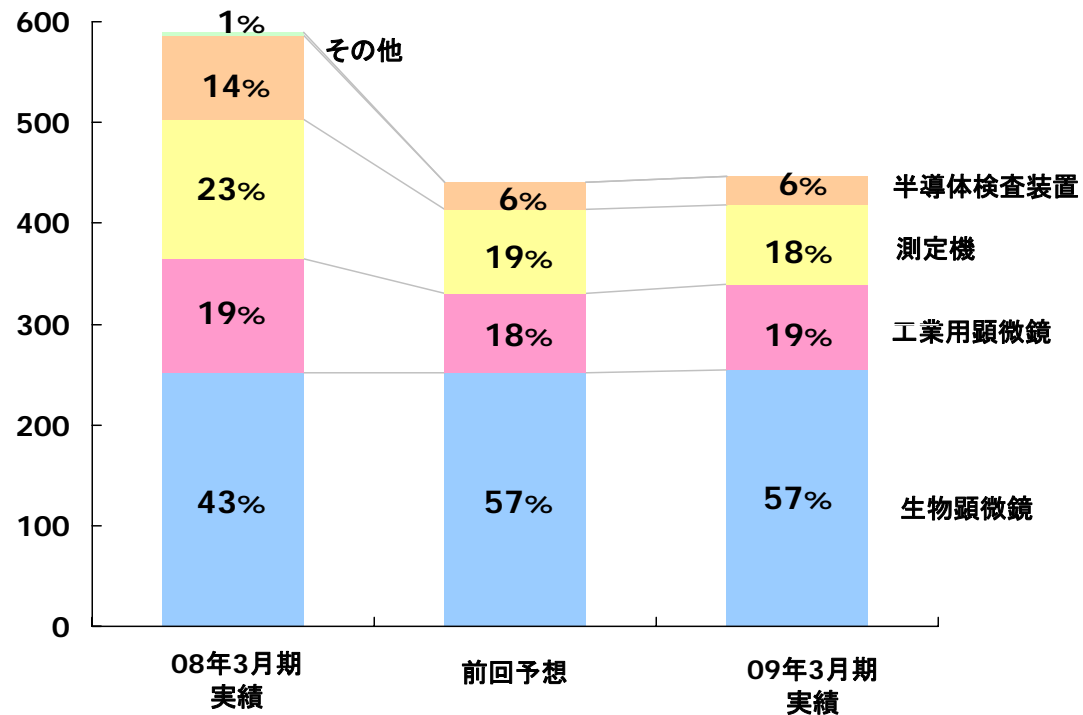
* 09年3月期実績は販売金額の製品別、地域別構成比となっております。

2009年3月期 インストルメンツカンパニー



	08年3月期 実績	上期 下期	前回予想 (2/5)	上期 下期	09年3月期 実績	上期 下期
売上高	590億円	$\frac{263}{327}$	440億円	$\frac{232}{208}$	446億円	$\frac{232}{214}$
営業利益 売上高比	41億円 6.9%	$\frac{9}{32}$	▲30億円 -%	$\frac{\blacktriangle 13}{\blacktriangle 17}$	▲27億円 -%	$\frac{\blacktriangle 13}{\blacktriangle 14}$

単位: 億円

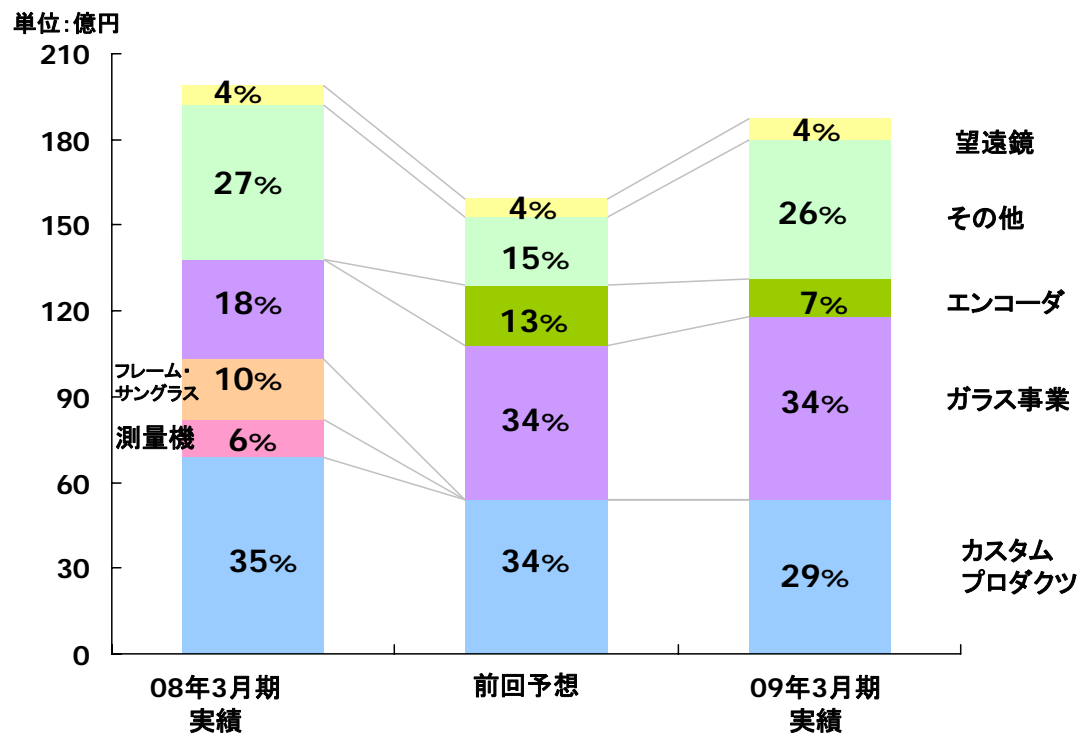


生物顕微鏡は堅調であったが、産業機器は投資抑制の影響を大きく受けた

2009年3月期 その他事業



	08年3月期 実績	上期 下期	前回予想 (2/5)	上期 下期	09年3月期 実績	上期 下期
売上高	198億円	$\frac{89}{109}$	160億円	$\frac{96}{64}$	187億円	$\frac{96}{91}$
営業利益 <small>売上高比</small>	36億円 18.2%	$\frac{25}{11}$	10億円 6.3%	$\frac{15}{\blacktriangle 5}$	29億円 15.5%	$\frac{15}{14}$



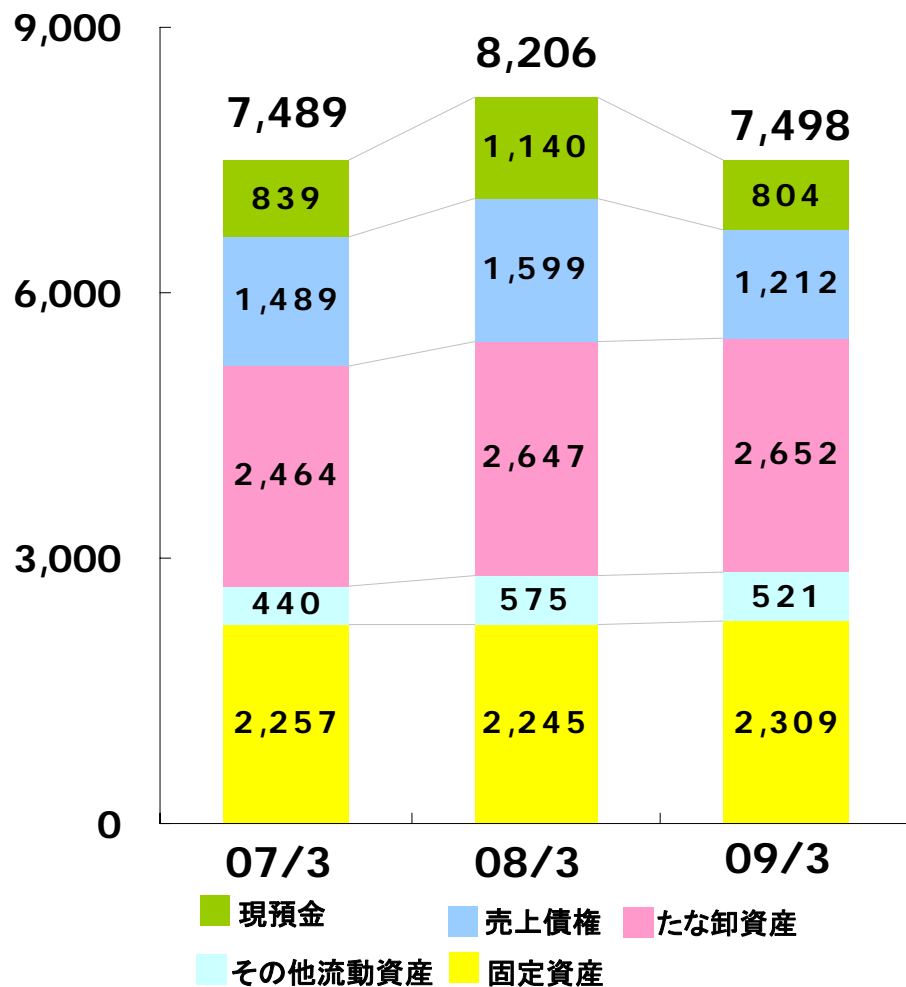
**ガラス事業の液晶フォトマスク
基板が売上を拡大**

2009年3月期 B/S内訳



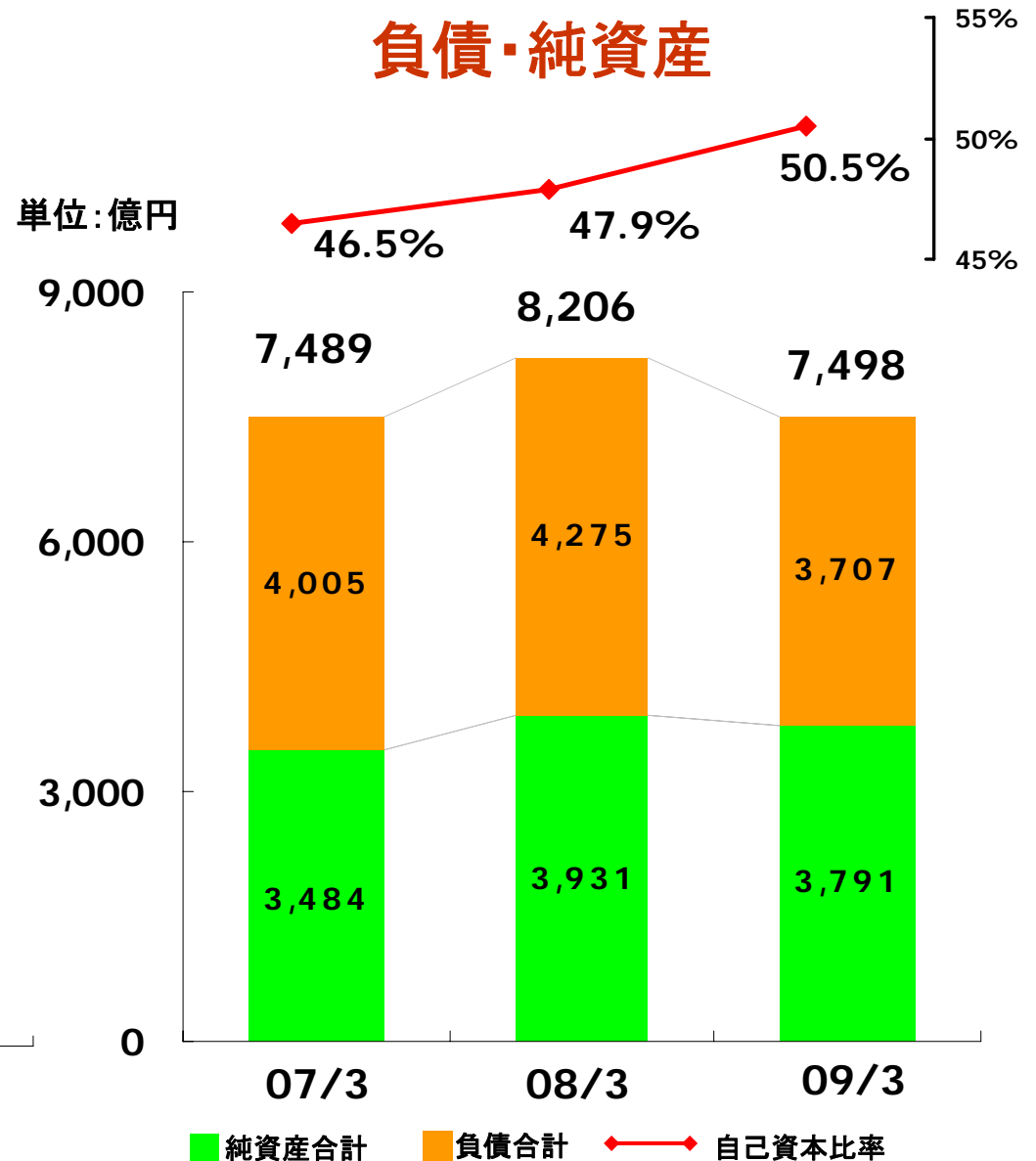
資産

単位: 億円

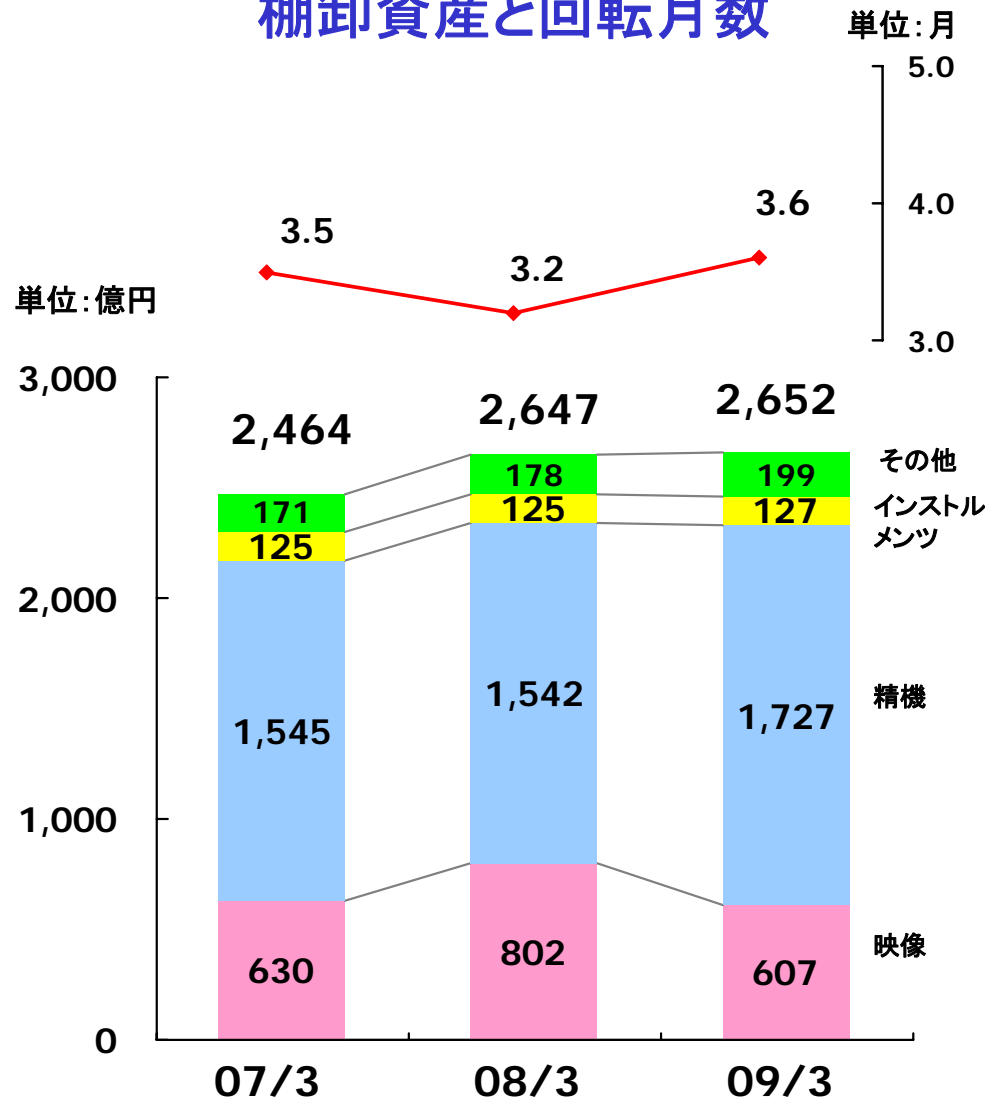


負債・純資産

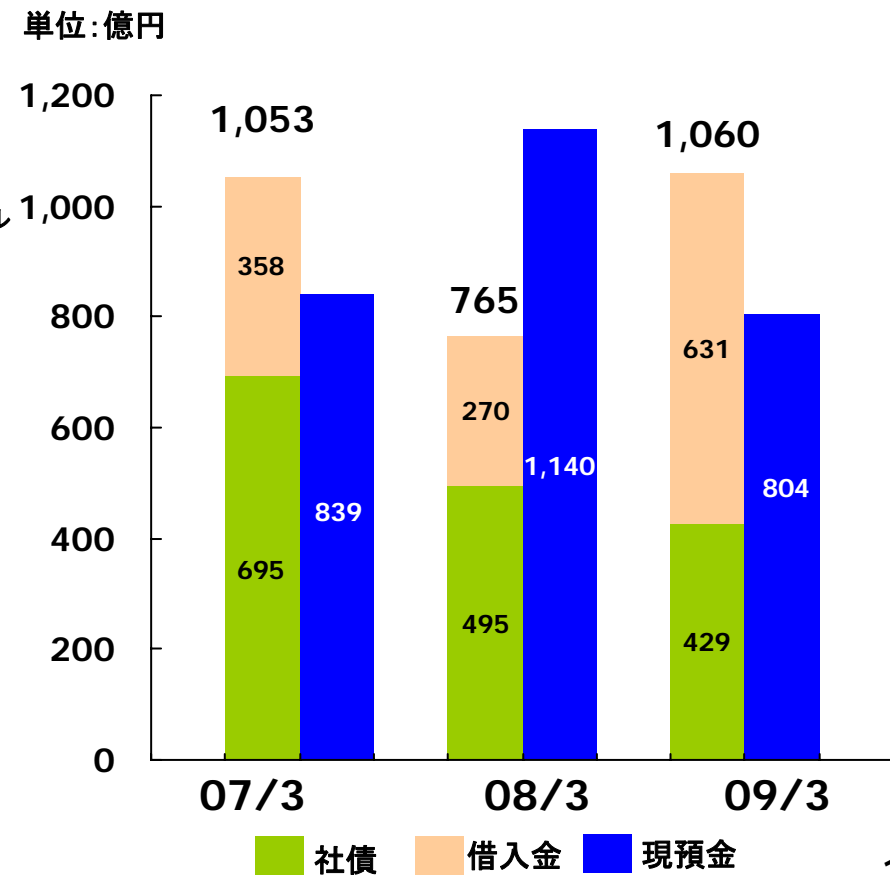
単位: 億円



棚卸資産と回転月数



有利子負債・現預金



◆昨年秋以降の世界的な景気後退と急速な円高により、 減収減益

- ・「精機」は、液晶露光装置が回復するも半導体露光装置がArFドライを筆頭に大幅な台数減少
- ・「映像」は、売上で過去最高を記録したほか、思い切った生産調整で在庫を圧縮するなど健闘

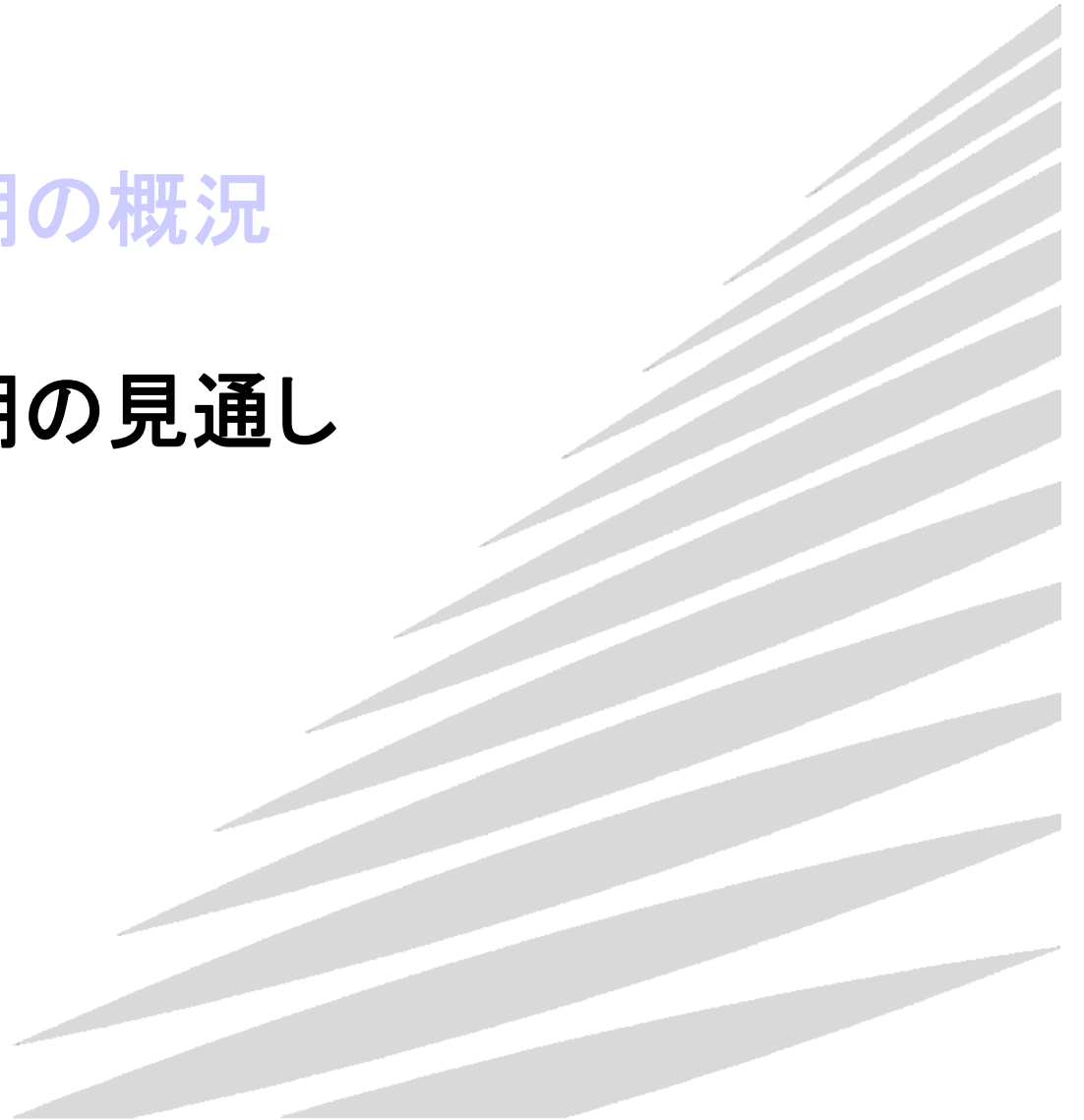
◆期末配当金は5.5円、年間配当金は18円（7円減配）

Agenda

I. 2009年3月期の概況

II. 2010年3月期の見通し

III. 参考データ



経営体質強化への取り組み

厳しい事業環境においても継続的に成長できる体質へ転換するため、構造改革を速やかに実行する。

◆固定費削減

- ・事業拠点をグローバルに再編
- ・広告宣伝費等経費の一層の絞り込み

◆調達合理化、海外調達促進を中心にコストダウン推進

◆設備投資、研究開発は着実に実施するがテーマを厳選

2010年3月期見通し 連結売上高・損益



	09年3月期 実績	上期 下期	10年3月期 見通し	上期 下期	前年実績比
単位: 億円					
売上高	8,797	$\frac{4,871}{3,926}$	6,800	$\frac{3,200}{3,600}$	▲1,997
営業利益 <small>売上高比</small>	482 5.5%	$\frac{541}{\text{▲59}}$	▲120 -%	$\frac{\text{▲140}}{20}$	▲602
経常利益 <small>売上高比</small>	477 5.4%	$\frac{531}{\text{▲54}}$	▲160 -%	$\frac{\text{▲160}}{0}$	▲637
当期純利益 <small>売上高比</small>	281 3.2%	$\frac{336}{\text{▲55}}$	▲170 -%	$\frac{\text{▲150}}{\text{▲20}}$	▲451
為替: ドル (円) ユーロ	101 144	$\frac{106}{95}$ $\frac{163}{125}$	95 125		売上高への予想影響額 約▲320億円 営業利益への予想影響額 約▲210億円

厳しい事業環境の年となるが、構造改革を推進し来期の浮上へつなげる。
11期ぶりに営業損失となる見込み

2010年3月期見通し 精機カンパニー



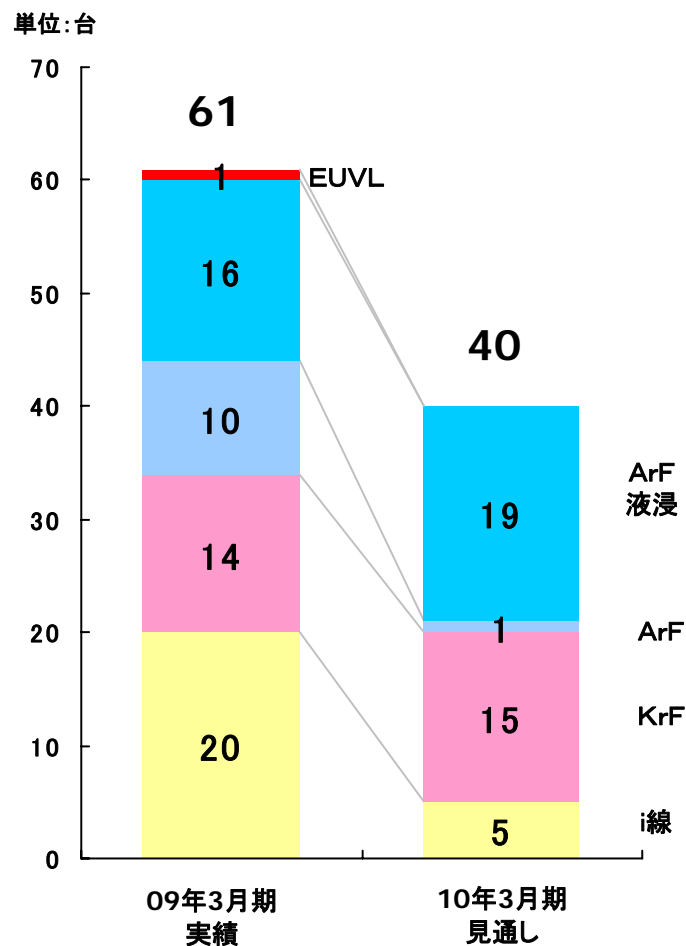
	09年3月期 実績	上期 下期	10年3月期 見通し	上期 下期
売上高	2,199億円	<u>1,172</u> 1,027	1,400億円	<u>600</u> 800
営業利益 <small>売上高比</small>	80億円 <small>3.6%</small>	<u>122</u> ▲42	▲330億円 <small>-%</small>	<u>▲180</u> ▲150
半導体露光装置 新品/中古	61/17台	<u>32/10</u> 29/ 7	40/13台	<u>17/5</u> 23/8
液晶露光装置	65台	<u>37</u> 28	36台	<u>14</u> 22
半導体露光装置 市場規模CY08/09	296台		90台程度	
液晶露光装置 市場規模CY08/09 (カラーフィルター用を除く)	110台程度		70台程度	

半導体、液晶ともに今期中の事業環境回復は想定しない。
6期ぶりに営業損失となる見通し

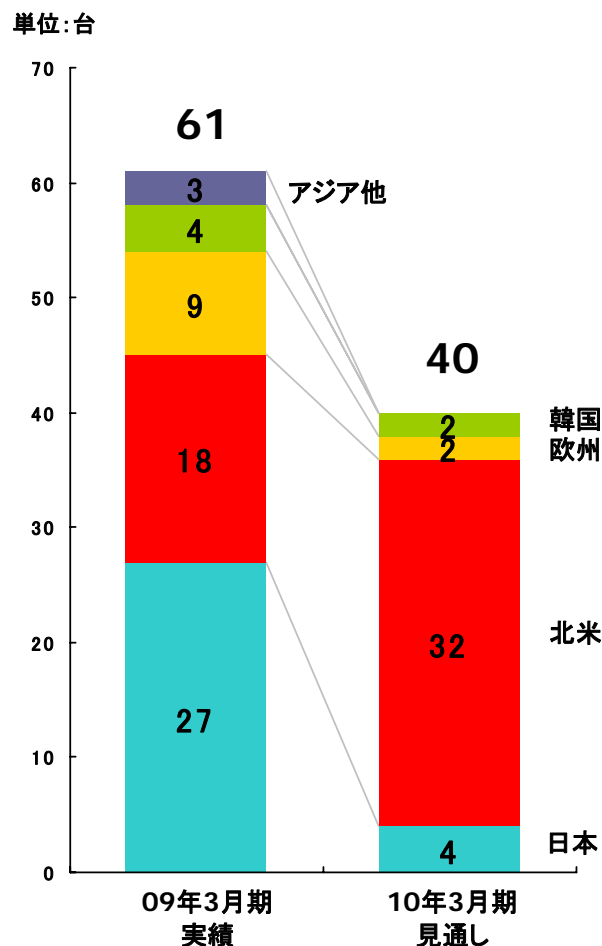
2010年3月期見通し 精機カンパニー



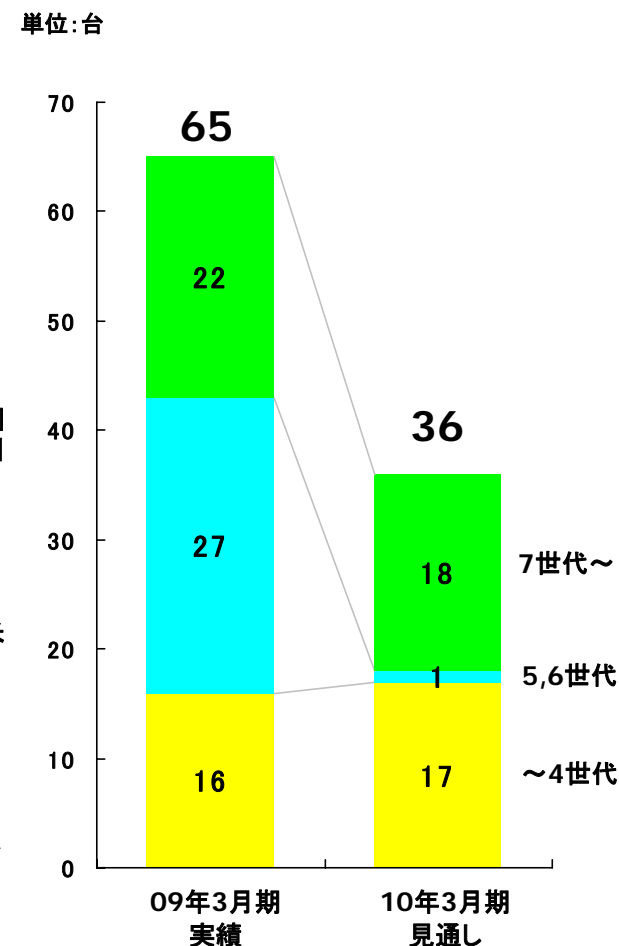
半導体露光装置 光源別販売台数



半導体露光装置 地域別販売台数



液晶露光装置 世代別販売台数



2010年3月期見通し 映像カンパニー



	09年3月期 実績	上期 下期	10年3月期 見通し	上期 下期
売上高	5,965億円	<u>3,372</u> 2,593	4,800億円	<u>2,300</u> 2,500
営業利益 <small>売上高比</small>	400億円 6.7%	<u>420</u> ▲20	250億円 5.2%	<u>80</u> 170
デジタル一眼レフ カメラ	342万台		340万台	<u>170</u> 170
交換レンズ	487万本		480万本	<u>240</u> 240
コンパクトデジタル カメラ	1,033万台		1,000万台	<u>470</u> 530
デジタル一眼レフ カメラ市場規模	913万台		920万台	
交換レンズ市場規模	1,480万本		1,500万本	
コンパクトデジタル カメラ市場規模	10,369万台		10,300万台	

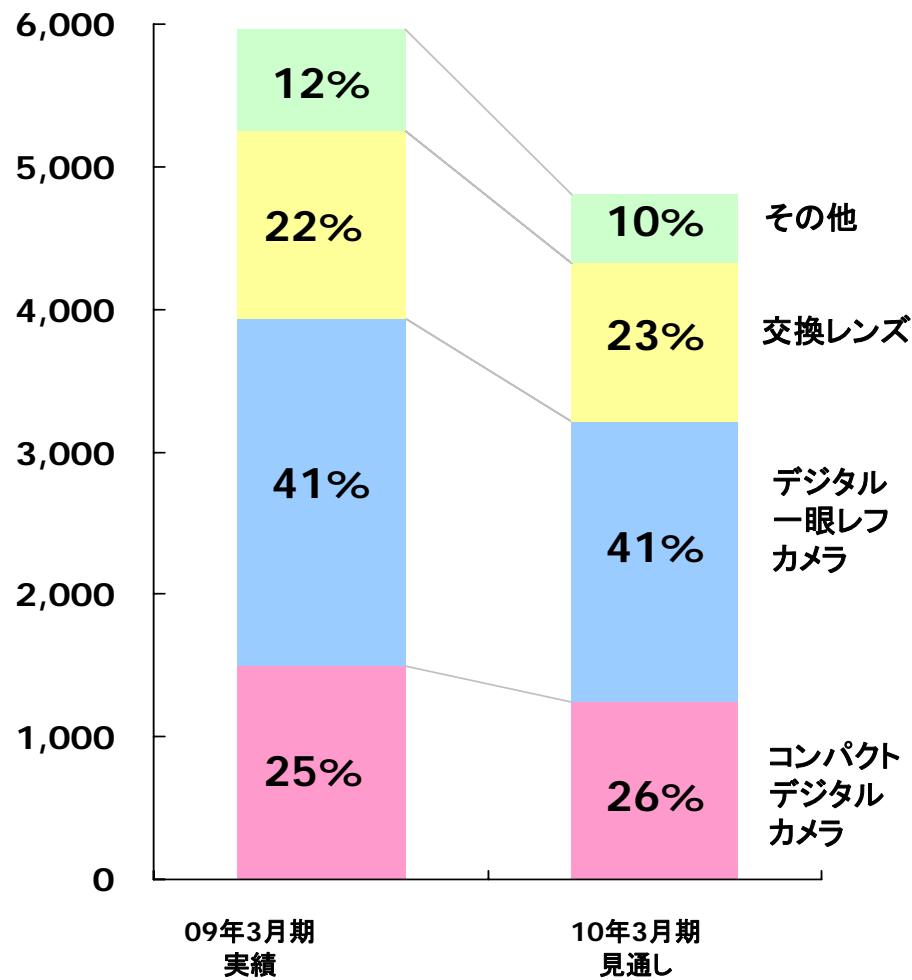
市場環境は厳しい状況が続くが、前期並みの販売台数を目指す。一眼レフのミックス変化や円高の影響で、前期比減収減益の見込み。 前下期の底は脱し営業黒字確保

2010年3月期見通し 映像カンパニー

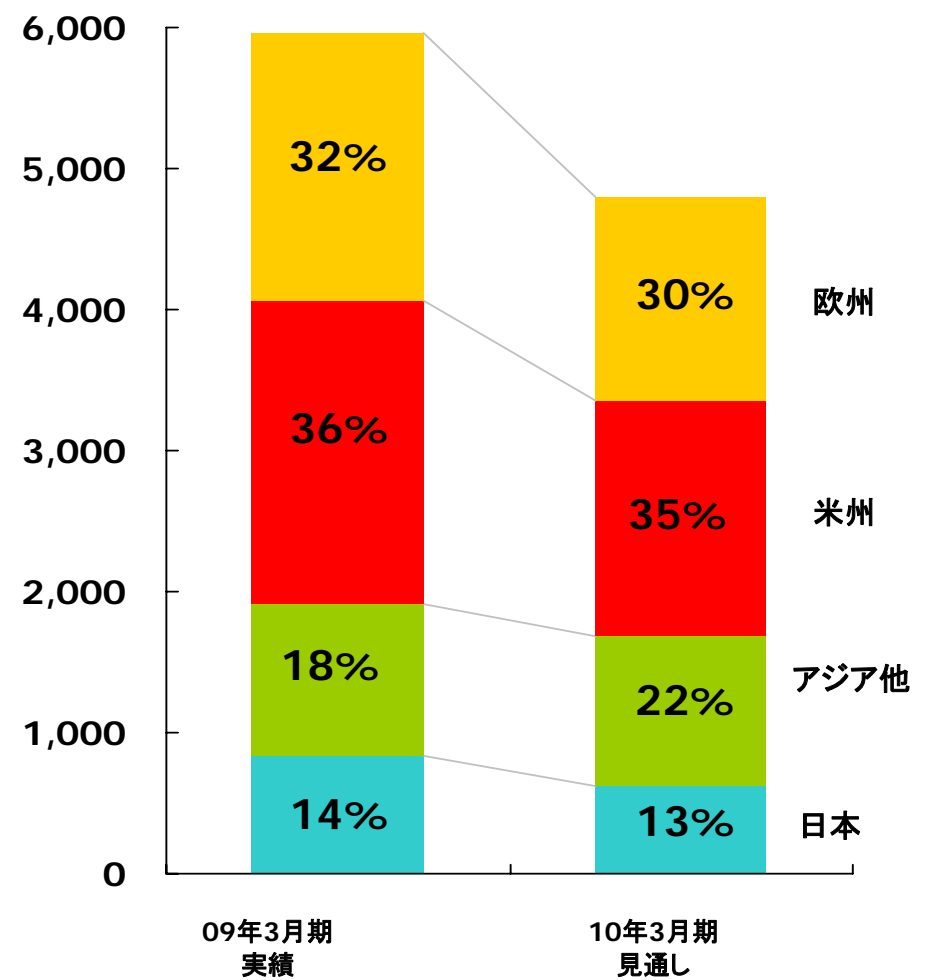


販売金額の製品別・地域別構成比

単位: 億円



単位: 億円

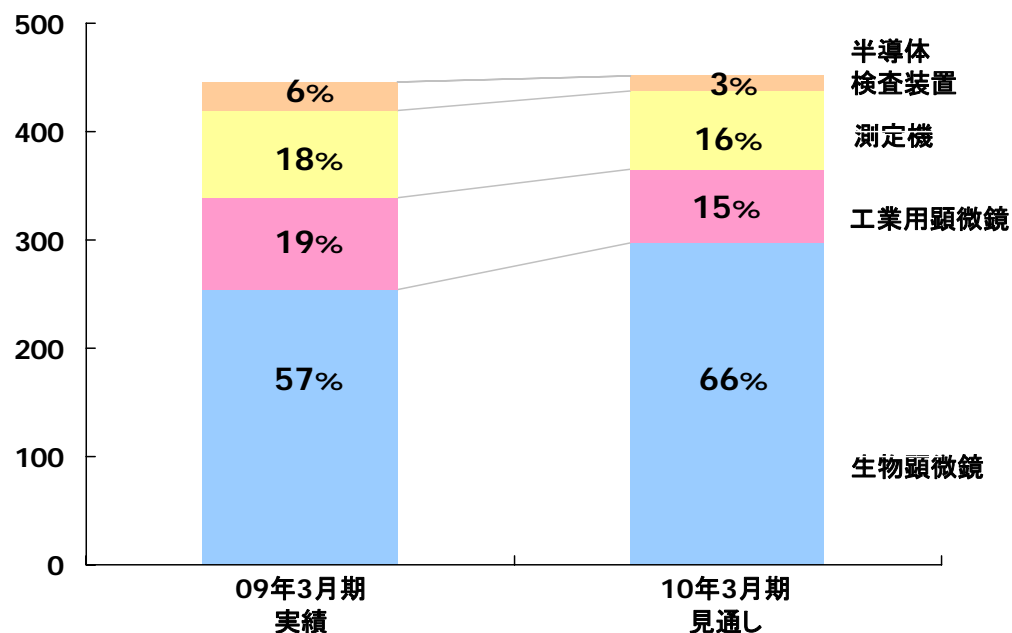


2010年3月期見通し インストルメンツカンパニー



	09年3月期 実績	上期 下期	10年3月期 見通し	上期 下期
売上高	446億円	<u>232</u> 214	450億円	<u>190</u> 260
営業利益 <small>売上高比</small>	▲27億円 <small>-%</small>	▲13 ▲14	▲30億円 <small>-%</small>	▲30 0

単位:億円



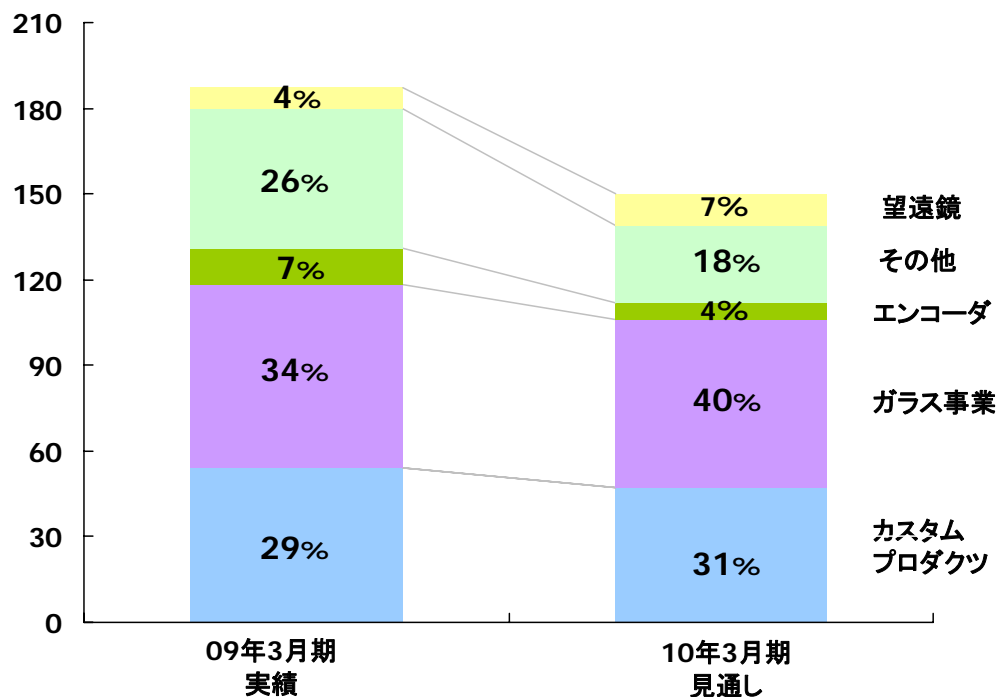
生物顕微鏡はライブセル対応製品で売上を拡大するが、産業機器は引き続き設備投資抑制の影響を受ける

2010年3月期見通し その他事業



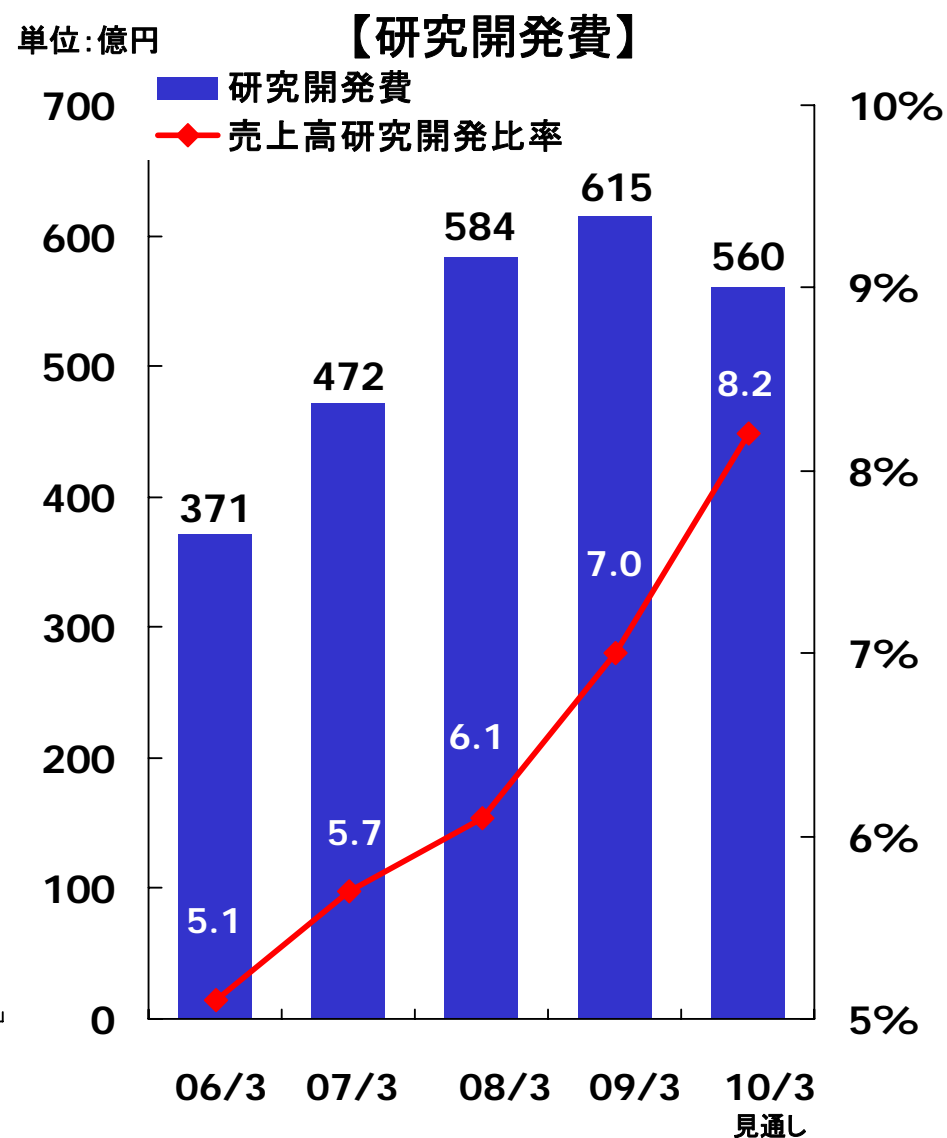
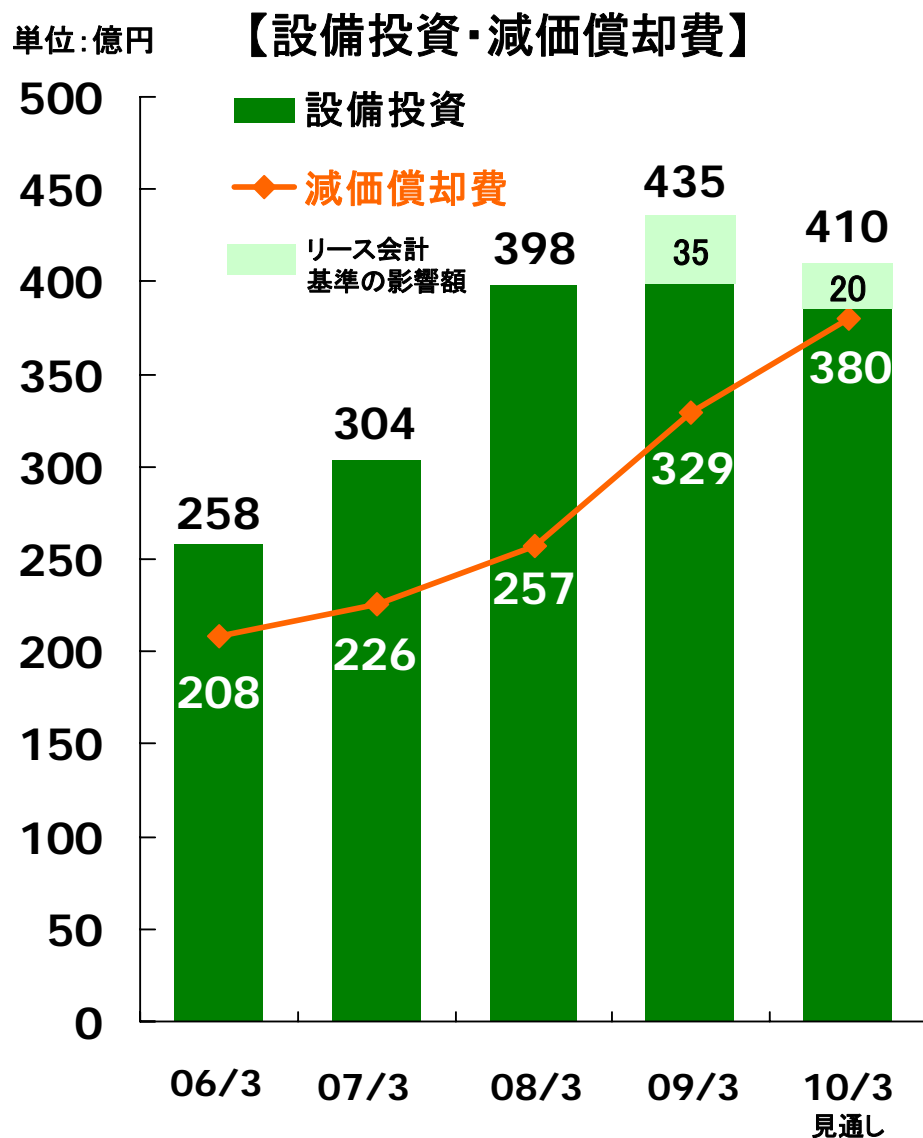
	09年3月期 実績	上期 下期	10年3月期 見通し	上期 下期
売上高	187億円	$\frac{96}{91}$	150億円	$\frac{110}{40}$
営業利益 <small>売上高比</small>	29億円 15.5%	$\frac{15}{14}$	▲10億円 -%	$\frac{\triangle 10}{0}$

単位:億円



ガラス事業の液晶フォトマスク
基板は堅調

2010年3月期見通し

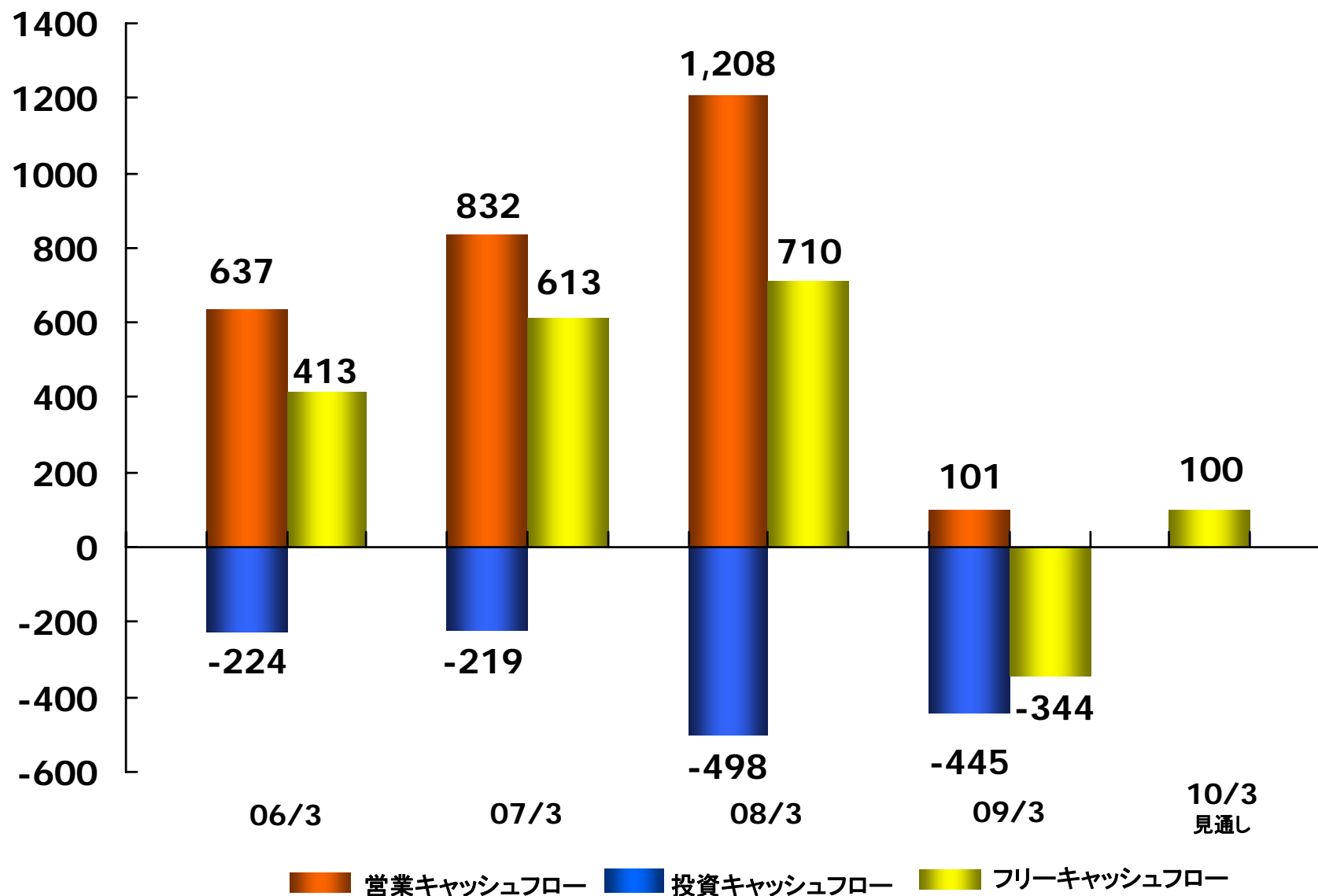


注)09/3以降には、リース会計基準の変更に伴うリース資産の取得額を含む。
09/3は設備投資35億円、減価償却費30億円。10/3は設備投資20億円、減価償却費30億円。

2010年3月期見通し キャッシュフロー



単位: 億円



- ◆世界不況後の需要構造が以前とは変わり、回復後の経済成長は緩やかになると認識
- ◆設備投資の先送り、消費需要の低迷状態はしばらく続く。回復したときに備え良いポジションを確保
- ◆主力事業の競争力を一層強化するとともに、事業構造を改革することにより、グループの損益分岐点を下げ、収益力を強化。継続的な成長の実現につなげる。
- ◆赤字決算見通しであるが、「安定的な配当」を実施予定

Agenda

I. 2009年3月期の概況

II. 2010年3月期の見通し

III. 参考データ



参考データ 為替の影響



2010年3月期
見通し

	為替レート	1円の変動による影響額	
	10年3月期 前提	売上高	営業利益
USドル	95 円	約 22 億円	約 10 億円
ユーロ	125 円	約 10 億円	約 8 億円

参考データ 2010年3月期業績見通し

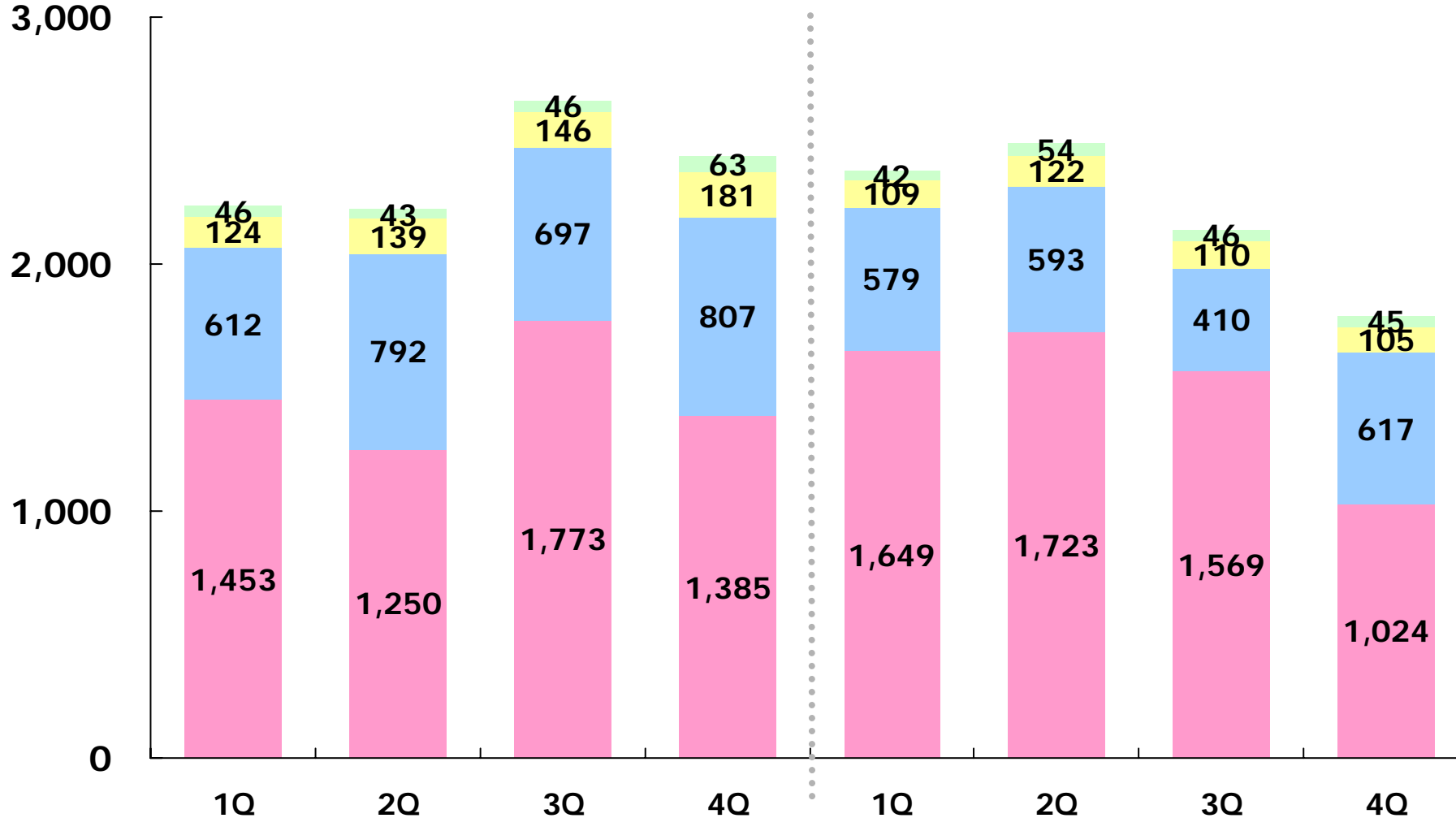


単位: 億円		09年3月期 実績		10年3月期 見通し	
営業利益	上期	482	541	▲120	▲140
	下期		▲59		20
営業外収益			80		100
営業外費用			85		140
経常利益	上期	477	531	▲160	▲160
	下期		▲54		0
特別損益			▲85		▲60
法人税等			111		▲50
当期純利益	上期	281	336	▲170	▲150
	下期		▲55		▲20

参考データ 四半期セグメント別売上高推移



単位:億円
3,000



2008年3月期

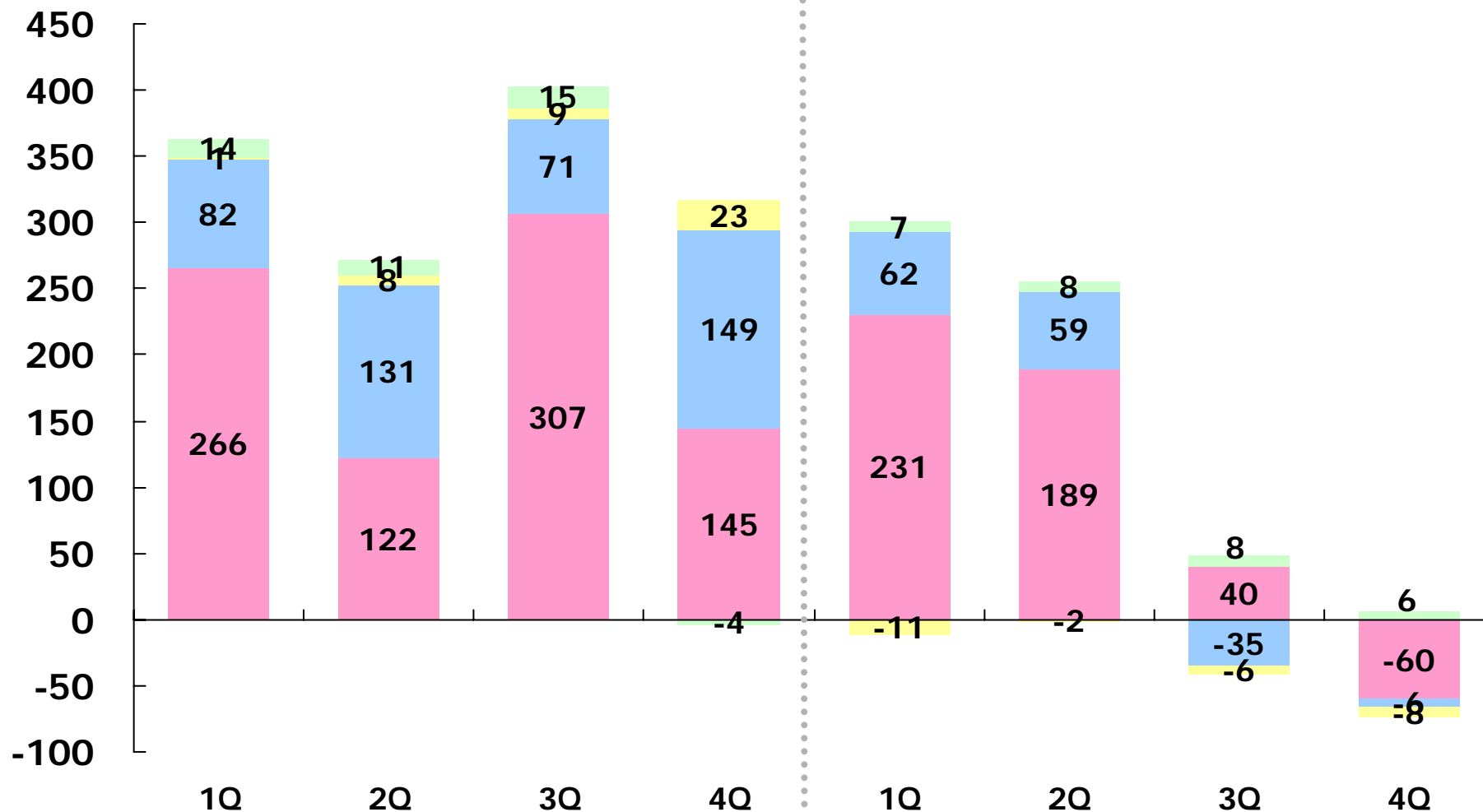
2009年3月期

映像カンパニー
 精機カンパニー
 インストルメンツカンパニー
 その他

参考データ 四半期セグメント別営業利益推移



単位: 億円



2008年3月期

2009年3月期

映像カンパニー
 精機カンパニー
 インストルメンツカンパニー
 その他